



令和6年11月19日

各位

会社名 新日本製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 後藤 孝洋
(コード番号：4931 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 COO 福原 光佳
(TEL. 092-720-5800)

当社取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能の向上を図ることを目的として取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。令和6年9月期の取締役会の実効性評価の方法及び結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法について

当社取締役会は、次の(1)～(3)の手順で分析・評価を行いました。対象者から率直な意見を収集し、社内の実態に精通した者による迅速で機動的な分析・評価を実施するため、自己評価方式を採用しております。なお、全ての取締役及び監査等委員が参画し、その中で社外取締役にも積極的に議論に参加いただきました。

- (1) 令和6年9月に全取締役（8名）に対し、実効性評価アンケートを実施
- (2) 同年10月開催の取締役が出席する会議にて、実効性評価アンケート結果の概要を報告、結果の概要と今後の課題について議論を実施
- (3) 同年11月開催の取締役会にて、令和6年9月期の取締役会の実効性の評価を確認

2. 実効性評価アンケート項目について

令和6年9月期の実効性評価アンケートにおける質問の大項目は、下記のとおりです。質問ごとに3段階もしくは4段階で評価する方式を採用しており、当該質問項目に関する評価の理由や改善点等の意見を記載するための自由記入欄を設けております。なお、アンケートは無記名で実施いたしました。

- (1) 取締役会の構成に関する質問（7問）
 - ・取締役会の構成員の人数の適切性、多様性の十分性
 - ・取締役の業務執行状況の適切性
 - ・社外取締役の知見・能力の十分性、兼任状況、就任期間の適切性 等
- (2) 取締役会の運営に関する質問（9問）
 - ・取締役会の開催日程、開催頻度の適切性
 - ・取締役会の議題資料の内容・分量の適切性、議案の事前検討時間・審議時間の十分性
 - ・取締役会の議事進行の適切性、会議における発言の状況・雰囲気 等

(3) 取締役会の議題に関する質問（12問）

- ・取締役会の議題の適切性、提案の適時性、審議内容の適切性
- ・後継者育成計画、役員報酬・選解任及び中期経営計画等の議論の適切性・十分性 等

(4) 取締役会を支える体制に関する質問（8問）

- ・社外取締役及び監査等委員への情報提供の十分性
- ・取締役と監査等委員の連携の十分性
- ・指名報酬諮問委員会の構成員・運営・答申の適切性 等

3. 分析・評価結果の概要について

令和6年9月期の実効性評価のアンケート結果より、全般的に「十分である」又は「適切である」との結論に至ったものの、(1)取締役会の構成(2)取締役会の運営(3)取締役会の議題(4)取締役会を支える体制、全ての項目において今後より一層精度の高い取締役会実施に向け、意見や提言がありました。

このような結果を踏まえ、当社では取締役会機能の更なる強化に向け、論点整理・ポイントを明確化した議案内容・時間配分の見直し等のさらなる工夫により、取締役会の実効性向上に向けた取り組みを継続的に行ってまいります。特に、取締役会の役割・責務を適切に果たすための議題設定、及び議論の充実に重点的に取り組んでまいります。

また、(1)取締役会の構成に関する質問では今後の事業展開に向け、社会情勢を踏まえた様々な取締役の体制強化が必要との意見もありました。これらの意見を踏まえ、後継者育成計画を推進することにより専門人材や執行役員を育成を行うことに加え、外部登用を活用することで一層の充実に図ってまいります。

上記の結果を総合的に勘案し、令和6年9月期の取締役会の実効性は適切に確保されていると考えております。

当社取締役会は、以上の課題への取り組みも含めて取締役会の役割・責務を果たし、実効性の更なる向上に取り組んでまいります。これにより、コーポレートガバナンスの更なる充実に図り、企業価値の持続的な向上をめざしてまいります。

以 上